

2020 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3月 25日
研究・研修課題名	アフエレシス認定技士
研究・研修組織名(所属)	MEセンター
研究・研修責任者名(所属)	長谷川竜馬 (MEセンター)
研究・研修実施者名(所属)	長谷川竜馬 山本優葉 (MEセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ()
該当者名(所属)	長谷川竜馬 山本優葉 (MEセンター)
学会名(会期・場所)、認定名等	日本アフエレシス学会
演題名・認証交付元等	アフエレシス認定技士
取得日・認定期間等	2020. 10. 23~2020. 10. 24
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 () <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

アフエレシスとは体外循環によって血液中から血漿成分や細胞成分を分離するあるいは分離した血漿成分から病気の原因となる液性因子を分離することで再生医療においては必要な細胞成分や液性因子を分離し治療を行う。このアフエレシス治療が当院では近年増加傾向にある。アフエレシスの治療に関わる臨床工学技士として知識を身につけることが重要となる。このアフエレシス治療に特化したアフエレシス認定技士を取得する事で治療を円滑にかつ安全に治療を行う事が出来ると考えられる。

②方法

日本アフエレシス学会会員になり第41回日本アフエレシス学会学術大会に参加することで受験資格が与えられる。

③成果

血液浄化業務において臨床工学技士が透析回路やアフエレシス治療の回路のプライミングを行い医師、看護師と治療を開始している。アフエレシス治療中の経過などの記録を臨床工学技士が行っており、現状として、当院の血液浄化治療部、ICU等で行っているアフエレシス治療は2017年度に202件、2018年度に233件、2019年度に292件と年々施行回数が増加傾向にある。アフエレシス認定技士の資格を取得することで多岐にわたる治療中の病態変化や患者とのコミュニケーションなど幅広い知識で対応を行う事が出来ると考えた。また、アフエレシスの動作原理を習熟することで安全に使用することができ、さらに医師や看護師など多くの職種の人並びに病院実習生に使用方法や原理、アフエレシスの特徴など、アドバイスや教育を行うことでより安全にかつ患者に適した治療を行うことができると考えられる。今回の学会で最先端のアフエレシスの知識を得ることができ、その知識を同じ部署の臨床工学技士に広めることで、当院のアフエレシス治療のレベルアップをはかれるのではないかと考えた。